

1. 国語

科目	国語総合 ①	単位数	3	区分	必履修
教科書・教材	東京書籍「新編国語総合」	配当年次			1年次
授業のねらい・概要					
* 現代文や古文、漢文の文章を読む楽しさを味わう。 * 文章の内容について理解する方法を学ぶ。 * 現代文は、漢字の読みや語句調べなどを中心に学習し、古文・漢文は文章に慣れることを主眼とする。					
授業の進め方					
(1) 本文の読み、本文の漢字・語句の書き取りのプリント学習 (2) その文章の大事な部分を問いとし、考える。 (3) 語句調べ、古文・漢文は本文の解釈、書き下し文を書く (4) まとめの問題を解く					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	1	随想1 「ルリボシカミキリの青」	中間	17
	5月	2	小説1 「とんかつ」		
	6月	3	言語活動 「スピーチする」		
後期	7月	4	評論1 「未来をつくる想像力」	期末	18
	8月		評論の読み方		
	9月	5	漢文入門・訓読の決まり、再読文字、助字、故事「守株」		
後期	10月	6	古文(随筆)「徒然草(雪のおもしろう降りたりし朝)」「枕草子(うつくしきもの)」	中間	17
	11月	7	評論2 「自己基準と他者基準」		
	12月	8	随想2 「りんごのほっぺ」		
後期	1月	9	詩 「空をかついで」「二十億光年の孤独」「冬が来た」	期末	18
	2月				
評価の方法					
授業への取り組み(態度)・定期テストの点数・出席点・課題プリント及びノート内容を総合判断し、成績を評価する。					
備考					
1、2年次で分割履修。前期・後期の分割認定とする。					

科目	国語総合①(国語表現①部)	単位数	1	区分	必履修
教科書・教材		配当年次			1年次
授業のねらい・概要					
* 「話す・聞く」および「書く」のそれぞれの分野において具体的な力をつける。 * 身近な教材を利用して、話す力・書く力を養う。					
授業の進め方					
副教材を用いて表現技法について理解。テープでメモの取り方、新聞記事でまとめの訓練。作文を書き、スピーチの発表、意見文の構成を学ぶ。手紙文・ビジネス文書などの知識と書く練習。漢字練習を繰り返しながら、語彙を広げる。					
		学習の内容		考查	時数
		通年で漢字練習を行う。			
前期	4月	語彙を豊かにし、比較的短い作文やスピーチ、実用文を学ぶ。		中間	9
	5月	1	スピーチ入門		
	6月	2	漢字・語句について学ぶ。		
後期	7月	3	類義語・対義語について学ぶ	期末	9
	8月		慣用句・ことわざについて学ぶ		
	9月	4	手紙と電話		
後期	10月	5	敬語について学ぶ	中間	9
	11月	6	生活短歌の創作		
	12月	7	発展段階として、やや長く資料を駆使した文章の作成を学習する。		
後期	1月		新聞記事を読み、それについて意見文を書く	期末	8
	2月		意見文の発表をする		
評価の方法					
授業への取り組み(態度)・定期テストの点数・課題プリントの内容を総合的に判断し成績を評価する。					
備考					
前期・後期を通して1単位。最終的に「国語総合」(3単位)として「国語総合」(2単位)「国語表現①」(1単位)を合わせて評価する。					

科目	国語総合②	単位数	2	区分	必履修
教科書・教材	東京書籍「新編国語総合」	配当年次			2年次
授業のねらい・概要					
* 現代文や古文、漢文の文章を読む楽しさを味わう。 * 文章の内容について理解する方法を学ぶ * 現代文は、漢字の読みや語句調べなどを中心に学習し、古文・漢文は文章に慣れることを主眼とする。					
授業の進め方					
(1) 漢字の読み、書き取りのプリント学習 (2) その文章の大事な部分の書き取り、書き下し文を書く (3) 語句調べ、古文・漢文は本文のカイシャク (4) まとめの問題を解く					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	1	小説1 「果物屋のたつ子さん」	中間	17
	5月	2	評論1 「手技に学ぶ」		
	6月	3	漢字・語句について学ぶ。		
後期	7月	4	随想2 「里山物語」	期末	18
	8月	5	漢文 故事「借虎威」、史話「魏武捉刀」ほか		
	9月		同上		
後期	10月	6	小説2 「羅生門」	中間	17
	11月	7	古文入門 「児のそら寝」		
	12月	8	古文物語 伊勢物語「芥川」		
後期	1月	9	小説3 「沖繩の手記から」	期末	18
	2月		同上		
評価の方法					
授業への取り組み(態度)・定期テストの点数・課題プリント及びノートの内容を総合的に判断し成績を評価する。					
備考					
1、2年次で分割履修。前期・後期の分割認定とする。					

科目	国語表現	単位数	1	区分	選択
教科書・教材	京都書房「国語表現」	配当年次	2年次(残りの2単位は4年次に分割履修)		
授業のねらい・概要					
*「話す・聞く」および「書く」のそれぞれの分野において具体的な力をつける。 *身近な教材を利用して、話す力・書く力を養う。					
授業の進め方					
教科書本文を読み、表現技法について理解。テープでメモの取り方、新聞記事でまとめの訓練。作文を書きスピーチの発					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	表記・敬語表現・語のかかり受け・主述の対応など正しい文を書く基礎を学ぶ		中間	9
	5月	1 文章の推敲の仕方(誤った文の訂正、表記、語句、語のかかり受け、敬語表現、句読点など)			
	6月				
	7月	聴くこと、メモすること、書かれた文章の構成について学ぶ。			
後期	8月	2 ニュースをメモする(メモの取り方)		期末	9
	9月	3 新聞記事の構成に学ぶ。5W1H			
	10月	手紙と電子メール、依頼・報告文		中間	
	11月	4 手紙の形式、依頼・報告文の様式と書く手順			
	12月	意見文の書き方		期末	
	1月	5 意見文の発想のしかたと書く手順			
2月	6 文章の構成と推敲				
					8
評価の方法					
定期テストの点数・授業の取り組み方・提出プリントや作品の内容を総合的に判断して成績評価をつける。					
備考					
2・4年次で分割履修。					

科目	現代文B	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	東京書籍「新編現代文B」	配当年次	3年次		
授業のねらい・概要					
教科書に書かれた近現代のさまざまな文章を読むことによって、現代日本の文化と言語活動の基層となる表現様式について学ぶ。また、さまざまな作品から、思考様式や批評精神について学び文化創造の基礎となる価値観や問題意識のあり方について学ぶ。					
授業の進め方					
教科書本文の読み。漢字学習と本文の概略の確認。重要語句の意味の確認。プリントの問題形式による内容のまとめ。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	随想「さくらさくらさくら」(読み、漢字・語句の学習、読解)		中間	17
	5月	小説「みどりのゆび」			
	6月	小説「ナイン」			
	7月	評論「「ふしぎ」ということ」(読解)			
後期	8月	短歌「信濃路」(語句の解釈・作者紹介・現代語訳・作品鑑賞)		期末	18
	9月				
	10月	評論「安心について」(読み・漢字と語句の意味、読解)		中間	
	11月	詩「一つのメルヘン」他三編(朗読、語釈と作品鑑賞)			
	12月	評論「最初のペンギン」(読み、漢字・語句の意味調べ)		期末	
	1月	小説「なまけものコンプレックス」(「なまけものコンプレック			
2月					
					18
評価の方法					
授業の取り組み方・定期テストの点数・出席点・課題プリントおよびノートの内容を総合的に判断して成績を評価する。					
備考					
3、4年次で分割履修。					

科目	現代文B	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	東京書籍「新編現代文」	配当年次	4年次		
授業のねらい・概要					
教科書に書かれた近現代のさまざまな文章を読むことによって、現代日本の文化と言語活動の基層となる表現様式について学ぶ。また、さまざまな作品から、思考様式や批評精神について学び文化創造の基礎となる価値観や問題意識のあり方について学ぶ。					
授業の進め方					
教科書本文の読み。漢字学習と本文の概略の確認。重要語句の意味の確認。プリントの問題形式による内容のまとめ。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	1 I部 随想二 「『おのずから』を感じ取る」		中間	17
	5月	2 I部 小説二 「水かまきり」			
	6月	現代文のしるべ①、②			
	7月	3 I部 随想二 「地球儀の裏側」			
後期	8月	4 II部 詩歌 「竹」「永訣の朝」「踊り子」「春雷」		期末	18
	9月	同上			
	10月	5 I部 小説二 「山椒魚」		中間	
	11月	同上			
	12月	6 II部 小説一 「山月記」		期末	
	1月	同上			
2月	同上				
					18
評価の方法					
定期テストの点数・授業態度・出席点・課題プリントおよびノートの内容を総合的に判断して成績評価をつける。					
備考					
3、4年次で分割履修。					

科目	国語表現Ⅱ	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	東京書籍「国語表現Ⅱ」		配当年次	4年次	
授業のねらい・概要					
*さまざまな教材を通して、「話す・聞く」および「書く」のそれぞれの分野において具体的な力がつくことを目標とする。 *他人とのコミュニケーション手段について具体的に学ぶ。					
授業の進め方					
教科書本文の黙読。音読の発表をする。単元の課題について、具体的に文章を整える。書く・読むの練習をする。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	・上手な話し方・聞き方の学習。 (3分間スピーチおよび電話の対応)		中間	17
	5月	"			
	6月	"			
	7月	・手紙の書き方および宣伝文について考え、具体的に書く。		期末	18
	8月	"			
9月	"				
後期	10月	・記録文や報告文について考え、具体的に書いてみる。 (身近な問題や課題を設定し、それについて具体的に書く。)		中間	17
	11月				
	12月	・卒業課題として、読書感想文を書く。 (本の選定、読書、読書感想文の書き方について学び、感想文を書いて提出する。)		期末	18
	1月				
	2月				
評価の方法					
授業態度・出席点・提出プリントの内容を総合的に判断して成績評価をつける。					
備考					
特になし					

科目	古典 A	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	教育出版 古典文学選 古典A	配当年次	3年次		
授業のねらい・概要					
*歌物語・随筆を読み、古典に表された人間像や美意識、人生観や批評精神について学ぶ *軍記・随想に著わされた史実を読み取り、歴史物語や記録文学の描写を味わう。 *漢字について学習をする。					
授業の進め方					
(1)古文の読みや訳、漢文を書き下し文に書き換える練習をする。 (2)別紙参考プリントをもとにして、現代語訳を試みる。 (3)まとめの問題を解く。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	「伊勢物語」を中心に歌物語について学ぶ		中間	17
	5月	1 初冠(「伊勢物語」)			
	6月	2 月やあらぬ(「伊勢物語」) 3 筒井筒(「伊勢物語」) 他 4 姨捨山(「大和物語」)			
	7月	「枕草子」を中心に随筆を学ぶ			
	8月	5 二月のつごもり頃に		期末	18
	9月	6 殿などのおはしまさで後 7 中納言参り給ひて 他			
後期	10月	「源氏物語」を読んで当時の貴族社会について理解を深める		中間	17
	11月	8 光源氏の誕生 9 若紫との出会い 他			
	12月	漢文学について理解を深める			
	1月	詩文 1 0 桃花源記		期末	18
	2月	史記 1 1 鴻門の会 1 2 四面楚歌 他			
評価の方法					
定期テストの点数・授業態度・出席点・課題プリントの内容を総合的に判断して成績評価をつける。					
備考					
国語総合の古文・漢文の分野を修得していること。					

科目	ベーシック国語	単位数	1	区分	選択
教科書・教材	自作教材等	配当年次	3年次		
授業のねらい・概要					
漢字検定5級程度の漢字学習から始め、最終的に漢字検定3級から2級の受験ができるような力を養う。 * 1日10分で1年間の継続授業なので、単調にならないよう教材・学習方法に変化を持たせる。					
		学習の内容		まとめ	時数
前期	4月			無	40
	5月	漢字を読む力、書く力(漢字検定5～4級程度)			
	6月				
	7月				
	8月	漢字を読む力、書く力(漢字検定4級程度)			
9月			有	42	
後期	10月	漢字検定3級程度		無	38
	11月	読み・書き・同音・同訓異義語・対義・類義語・誤字訂正・部首・熟語の訂正			
	12月	漢字検定準2級・2級程度		有	40
	1月	読み・書き・同音・同訓異義語・対義・類義語・誤字訂正・部首・熟語の構成			
	2月				
評価の方法					
毎時の課題の内容及び提出状況・授業態度・出席点・課題プリントの内容を総合的に判断して成績を評価する。					
備考					